

平成28年9月16日

【照会先】

大田原労働基準監督署

安全衛生課長 富永 剛彦

監督課長 内田 一弘

(電話) 0287 (22) 2279

報道関係者 各位

安全セミナー（建災防栃木県支部那須分会主催）について

— 建設業の労働災害が急増しています —

大田原労働基準監督署（署長 五十嵐 理夫）は、管内（大田原市・矢板市・那須塩原市・那須町の3市1町）で発生した建設業における休業4日以上¹の死傷者数が平成28年に入り急増（8月末現在）していることを受けて、9月23日（金）午前10時から、建設業労働災防止協会栃木県支部那須分会が主催する安全セミナーにおいて、署長による啓発指導を行います。

是非、取材にお越しく下さい。

大田原労働基準監督署管内で発生した建設業における休業4日以上¹の死傷者数は、近年において横這いの状況で、40人台から50人台で推移しています（別添図1参照）。

建設業における労働災害が、平成28年に入り大幅な増加傾向で推移し、休業4日以上¹の死傷者数は8月末現在で29人と前年同期の22人と比べて31.8%増となっていて、このうち特徴的なのは40歳以上の「墜落・転落」（4人）及び「はさまれ・巻き込まれ」（4人）の割合が高いことです（別添図2・図3・図4参照）。

また、当署管内の建設現場では20歳代の作業員1名の死亡災害も生じており、極めて憂慮すべき事態であります

このため、労働災害増加に歯止めをかけるべく、建設業労働災防止協会栃木県支部那須分会と連携し、同分会が主催する安全セミナーにおいて、中高年齢労働者に対する「墜落・転落」・「はさまれ・巻き込まれ」対策及び安全衛生教育の徹底を主眼とした署長による啓発指導を行います。

平成28年（1～8月）大田原労働基準監督署管内における労働災害発生状況[建設業]について

- 事故の型別：「墜落・転落」「はさまれ・巻き込まれ」が各5人で最も多く、この2種類で全体の34.5%を占めている（別添図3参照）。
- 年齢別：60歳以上が7人で最も多く、全体の24.1%を占めている（別添図4参照）。

セミナー概要

1 日 時 平成28年9月23日（金） 午前10時から

2 場 所 栃木県建設業協会那須支部会館
大田原市紫塚4-3944-120
電話0287（22）2124

※ 当日は、「労働災害・公衆災害対策」をテーマとした富士火災海上保険株式会社の方による講演があります。

図1

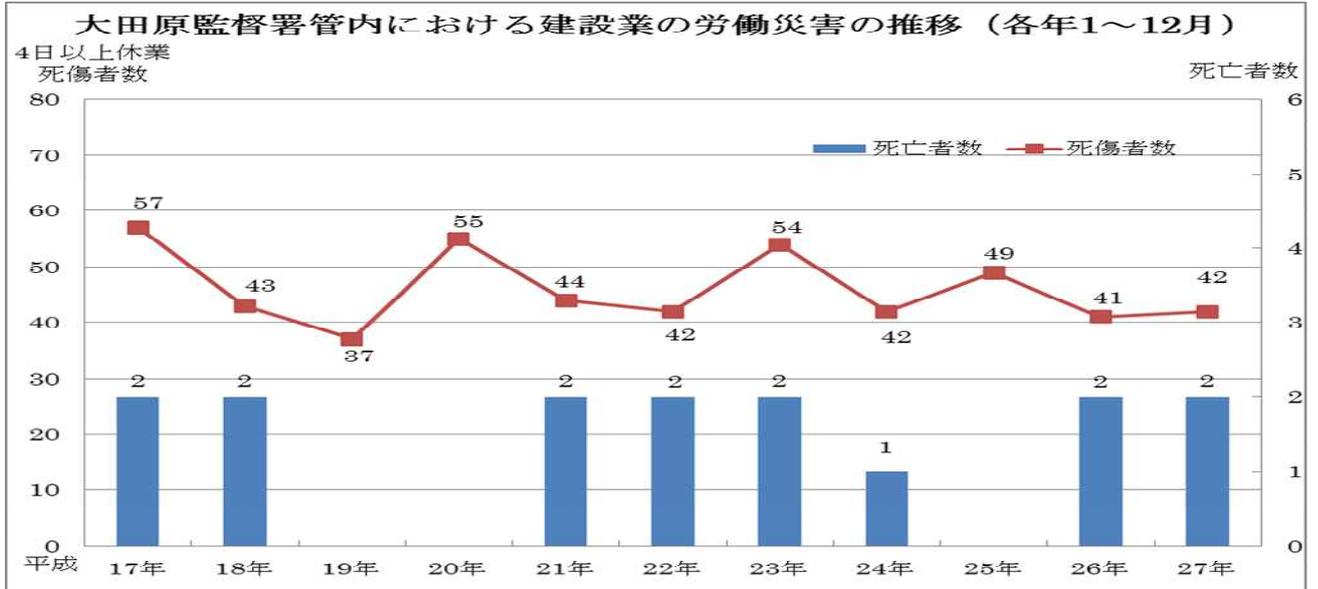


図2

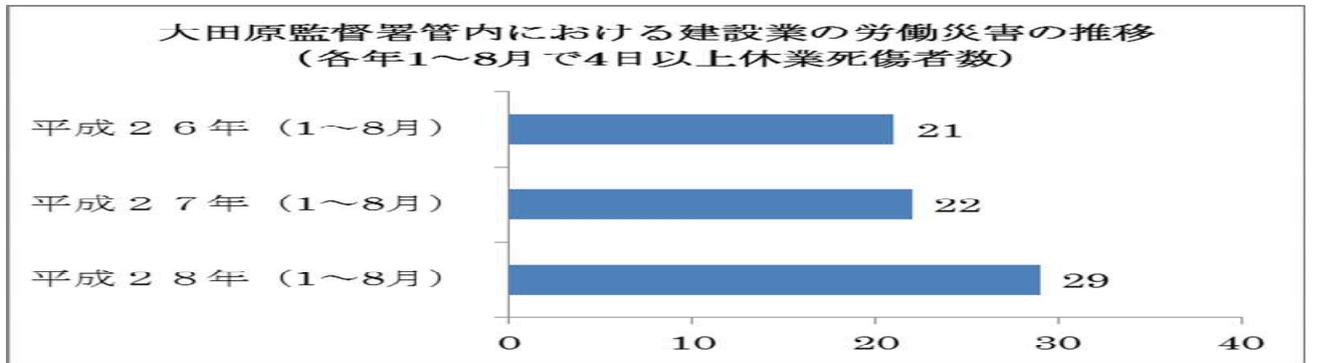
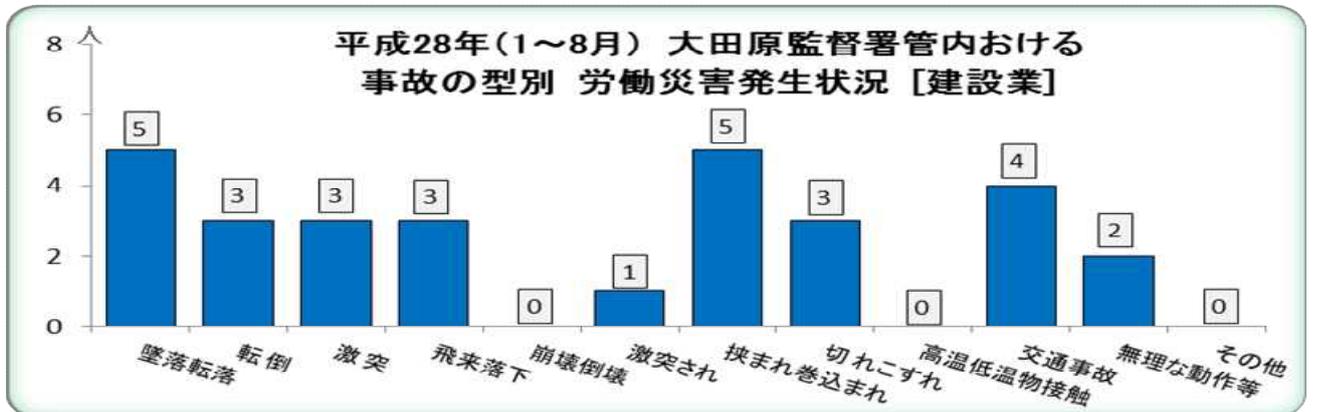
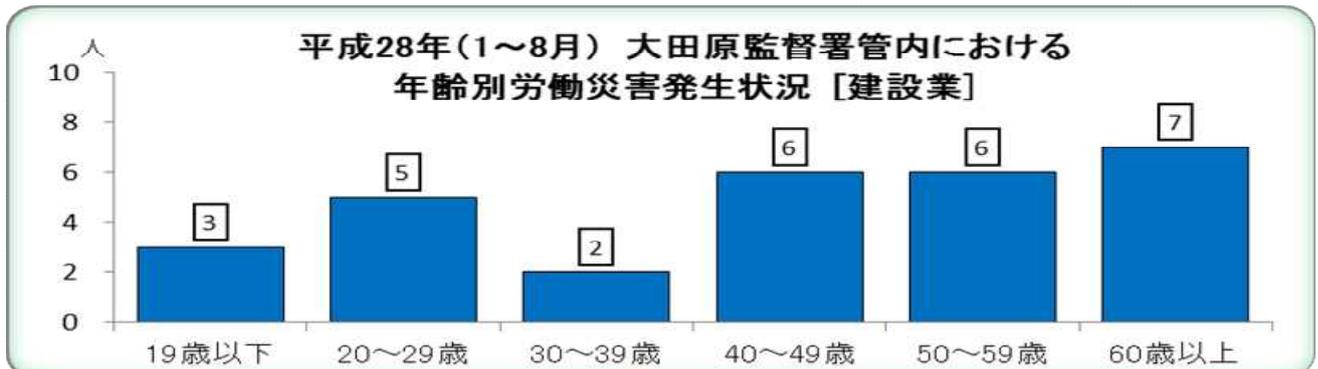


図3



注：グラフ上の数値は労働者死傷病報告による休業4日以上災害

図4



注：グラフ上の数値は労働者死傷病報告による休業4日以上災害